

かしてつバス弁当

石岡商高

2007年に廃止された鹿島鉄道の跡地を走る「かしてつバス」の存続・PR活動から弁当が誕

たちが存続・PR活動の一環にオリジナル弁当を企画。JAひたち野農産物直売所「大地のめぐみ」

今年度の3年生13人は科目「課題研究」の商品開発で、バスを応援する弁当を作ることにした。「お母さんが作った感じ」と「健康を考えたい」の2種類のコンセプトを提案し、JA側と弁当を共同開発。空揚げやコロケ、

穀米などヘルシーな「健康弁当」の2種類が完成した。バスの形をしたパッケージも考案。10月29日に同直売所で行われた試食会では、生徒たちは弁当のできあがり満足そう

な表情。代表の飯村成美さん(18)は「イメージ通りの弁当が完成しました。大勢の人に知ってもらい、食べてほしい」と話している。1個500円(税込み)で販売される。【福沢光一】

存続の応援に限定販売

生した。沿線の学校などをつくる「かしてつバス応援団」の中心校である県立石岡商業高校3年生

(石岡市南台3)が製造を請け負い、16日以降に同直売所で限定販売される。

ポテトサラダなどポリウム感がある「お母さん弁当」と豆腐ハンバーグや煮物、春雨サラダ、雑

メモ

かしてつバス弁当は9日、水戸市中原町の「イオンモール水戸内原」で行われる「いばらきものづくり教育フェア」商業料ブースで2種類の弁当を限定15個ずつ先行販売する予定。16、17の両日にJAひたち野農産物直売所「大地のめぐみ」(0299・56・5806)で行われるイベントから限定販売がスタートする。



パッケージやコンセプトを企画した「かしてつバス弁当」をPRする石岡商業高校の生徒たち(石岡市南台3のJAひたち野で)

茨城ブランド

